

## 新体操の魅力を知って！

### キューブ新体操教室発表会

3月30日、「キューブ新体操教室発表会」がホワイトキューブで開催され、同教室に通う生徒やOB、OG、仙台大学の学生など約90人が日ごろの練習の成果を発表しました。また、全日本選手権個人の部で上位入賞、三宅一生プロデュース「青森大学男子新体操部」に出演した青森大学の佐藤秀平選手と、2010全日本新体操選手権大会個人総合優勝のほか、世界選手権日本代表の経歴を持つ、東京女子体育大学OGの大貫友梨選手が賛助出演し、発表会に花を添えました。フィナーレは、「花は咲く」の曲に合わせて全員で創作演技を披露。会場が沸きました。



▲厳しい練習で鍛えた見事な演技に会場が沸いた

## 子どもたちの安全を願って

### すぎのこ母親クラブがストップマーク張り付け

3月15日、第一児童館を利用する児童の母親たちで構成される「第一児童館すぎのこ母親クラブ（佐々木とし子会長）」が、ストップマークの張り付け作業を行いました。この日は、同クラブの会員など約10人が参加。第一小学校周辺の交差点にストップマークを張り付けました。この作業は、児童たちが交差点など危険箇所での安全に通学できるように平成6年から実施し、今回で20回目。参加した会員は、「このストップマークを見て、急に飛び出したりせず、交通安全を心掛けてほしい」と、児童たちの無事故を願いながら張り付けていました。



▲国道113号と旧国道4号との交差点にストップマークを張る会員たち

## みんなで地域をきれいに

### 春の市内一斉クリーン作戦

3月30日、春秋恒例の「市内一斉クリーン作戦」が市内全域で行われました。この日は、市民6,794人が参加し、可燃ごみ7,450kg、不燃・粗大ごみ5,560kg、資源ごみ5,030kgの総計18,040kgのほか、タイヤ132本、リサイクル家電50台（テレビ29台、冷蔵庫11台、洗濯機10台）などが拾い集められました。参加者は、「このクリーン作戦は、ご近所の人たちとコミュニケーションを取りながら住んでいる地域をきれいにできます。これからも参加して、地域の皆さんとの交流を深めながら、まちをきれいにしていきたいです」と話してくれました。



▲小雨が降る中、傘をさしながらごみを拾い集める参加者たち

## いざ、出陣！

### 春の交通安全県民総ぐるみ運動出陣式

4月6日から15日の10日間、春の交通安全県民総ぐるみ運動が開始されるのを受け、出陣式が6日、白石警察署（三浦英幸署長）で行われました。この日は、白石交通安全協会（齋藤好会長）会員や同署員など関係者約150人が参加。三浦署長は、「交通安全の輪が市内すべての市民に広がるよう、安全運転を呼び掛けていきましょう」とあいさつしました。また、本年度発足した「白石警察署甲冑隊」が、「今年こそ、わが領地での交通死亡事故をなくすのじゃー！ エイ、エイ、オー！」と闘いの声をあげ、白バイやパトカーがパトロールに出発しました。



▲交通安全を祈願し闘いの声をあげる白石警察署甲冑隊の隊員たち

## 心を込めておもてなし

### 仙台・宮城【伊達な旅】オープニングイベント

4月5日、「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン 県南エリアオープニングイベント」が白石蔵王駅で開催されました。式典で同駅の東海林正年駅長は、「本年は、昨年行われたディステーションキャンペーンの成果を定着させ、さらに発展させましょう」と本キャンペーンの成功を祈願。駆けつけた仙南2市7町の首長などがテープカットを行った後、「みんなで新幹線に笑顔で手を振っておもてなし隊」のメンバーや詰め掛けた市民など約500人と、新幹線ホームに到着する列車や通過列車の乗降客に手を振っておもてなしをしました。



▲ホームに到着する新幹線に笑顔で手を振っておもてなし

## 交通事故防止の願いを込めて

### 第28回交通安全さくらメール作戦出発式

4月10日、「第28回交通安全さくらメール作戦」の出発式が日本郵便株式会社白石郵便局駐車場で行われました。この作戦は、春の交通安全県民総ぐるみ運動の一環として、高齢者を交通事故から守ることを目的に、白石第一・第二小学校の児童が自分の祖父母あてに、交通事故防止の願いを込めたはがきを贈っているもの。峯田進局長は、「児童の思いを受け取り、一通一通心を込めて届けます」とあいさつし、白石地区交通安全協会など約60人が見守る中、はがきを乗せたバイクが出発して行きました。



▲高齢者の無事故を願い、882通のはがきが届けられました

## 100歳おめでとうございます

### 遠藤とみいさんに松竹梅敬老祝金を贈呈

4月8日、満100歳を迎えた遠藤とみいさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り長寿を祝福しました。とみいさんは小下倉生まれで、結婚後は家業の農業に従事しながら5人の子供を育て、現在は孫が10人、ひ孫が14人います。普段の生活では、草花作りや折り紙を楽しんでいるというとみいさん。平成15年から「デイサービスしろいし」に休まず通い楽しく過ごすが今の生きがいで、好きな食べ物は、魚や納豆、とろろこんぶ。長生きの秘訣は、「よく運動して食べることではないでしょうか」とご家族が話してくれました。



▲ご家族でとみいさんの長寿を祝いました

## ケアハウスやまぶきに感謝を込めて

### やまぶきの里コンサート

3月26日、ピアニストの岡崎悦子さん、ファゴット奏者の岡崎耕治さん、声楽の大島優美子さんがケアハウスやまぶきを訪れ、「やまぶきの里コンサート」が行われました。この催しは、同施設の入所者で昨年亡くなられた悦子さんの母の1周年忌に合わせて、悦子さんたちが、同施設への感謝の思いを込めて企画されました。この日は、「アヴェ・マリア」や「ノクターン」などのクラシックの名曲など約10曲を披露。コンサートの最後には、悦子さんが同施設への想いを込めて、入所者と一緒に作り上げた曲「やまぶきの歌」を、約70人で大合唱しました。



▲感謝を込めてコンサートを行う悦子さん（ピアノ）たち